

防府市公園等里親制度

里親制度（アダプトプログラム）とは

アメリカのテキサス州交通局が1985年ごろ、州の高速道路で増え続けるゴミの清掃費用を減らそうと導入した「アダプト・ア・ハイウェー・プログラム」が原型。アダプト（A d o p t）とは英語で「〇〇を養子にする」の意味。公共施設を「養子」に見立て、市民の皆さんが「里親」となり、愛情をもって環境美化する活動。

対象施設（公園）

「佐波公園」 八王子一丁目1489番地
「中関公園」 大字田島2358番地

里親（市民）の役割

- ・ 空き缶、空き瓶、ペットボトル、紙くず、たばこの吸殻その他の散乱ごみの回収
- ・ 除草、植樹ますの清掃及び低木の剪定
- ・ 施設等の破損、樹木損傷等に関する情報の市への連絡

市の役割

- ・ 里親の活動で収集されたごみの回収
- ・ 里親制度に登録された団体であることを示す表示板の設置

実績

平成29年5月22日「防府市公園等里親制度実施要綱」制定
平成30年2月1日号 市広報「広報ほうふ」による広報・周知
防府市 Facebook による制度の広報・周知
応募.....なし

他市の状況（アダプトプログラム）※公益社団法人食品容器環境美化協会 2017 年度調査

【山口市】

道と海の愛護ボランティア制度「クリーンネット」（平成17年～）
対象施設：一般道路、海浜・海岸
活動団体：6団体（同好会1、青年会・老人会・婦人会2、自治会3）

【周南市】

環境清掃里親制度（平成25年～）
※旧徳山市では平成12年～「クリーンネット推進事業」として取り組み
対象施設：市が管理する市道・公園
活動団体：54団体（団体15、自治会・子ども会・婦人会9、組合・協議会5、企業24、行政1）

山口県、下関市、宇部市、萩市、光市、山陽小野田市でも制度導入。